

研究課題名「フェイシャルマッサージが脳活動に与える影響に関する研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

年齢 20 歳以上の名古屋大学大学院医学系研究科に所属する女学生及び、日本メナード化粧品（株）に所属する女子社員で神経学的な健常者。

2. 研究目的・方法・研究期間

<研究の目的>

マッサージにはリラックス、ストレス軽減など様々な効果が知られています。医療分野ではマッサージやタッチなどの触れるケアが、患者の痛みや緊張を緩和する技術として導入されています。本研究ではマッサージと脳活動について唾液中タンパク質の測定、及び MRI を用いて測定し、マッサージを受けた時の心地よさや報酬感の可視化、マッサージが脳活動に与える影響について明らかにします。なお本研究は名古屋大学医学部生命倫理審査委員会の承認と病院長の許可を受けた上で実施しています。

<研究方法>

20 歳以上の女性を対象にフェイシャルマッサージを行い、マッサージによる脳活動の効果について検討します。具体的にはフェイシャルマッサージを受ける前後に MRI による解析及び心理評価試験、唾液採取を行い、フェイシャルマッサージによる脳活動と心理状態の変化を解析します。研究同意取得後、研究対象者は年齢や既往歴に関する基本情報を記入し、次に MRI によって全脳の画像検査を行います。画像検査は大幸地区の名古屋大学脳とこころの研究センターにおける 3.0MRI を用います。撮影後に現在の心理状態や気分・感情を、心理的に測定するために心理評価試験を行います。その後、日本メナード化粧品株式会社所属のエステティシャン（社団法人エステティック協会認定）によって顔から首までのマッサージを受けます。マッサージはセラピストの手掌および指腹による軽擦法を中心とした柔らかいタッチのマッサージです。フェイシャルマッサージ前後に唾液を採取し、併せて脈拍、心拍、血圧測定を実施します。その後再度 MRI を用いて全脳の脳活動を撮像します。MRI 撮影後、再度心理評価試験を実施します。これらのデータをもとに、ストレスや緊張の緩和をもたらすマッサージ効果と脳活動の関連性を解析し、マッサージによって生じる心理的感情が脳においてどのような活動を示しているのか明らかにします。

<研究期間>

実施承認日～ 2024年 12月 31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：基本情報、心理評価試験結果、MRI データ、心拍・脈拍・血圧

試料：唾液

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所： 名古屋市昭和区鶴舞町65 医学系研究棟3号館610号室

電話： 052-744-2350

FAX： 052-744-1349

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科名古屋大学メナード協同研究講座
長谷川 靖司